

第17号

平成30(2018)年10月発行

—発行所・連絡先—
相愛大学人文学部同窓会

〒541-0053
大阪市中央区本町4丁目1-23
TEL/FAX (06)6261-2040(直)
E-mail sj-dosokai@soai-jinbun-dosokai.org
URL <http://soai-jinbun-dosokai.org/>

南風

MINAMIKAZE

「南」は母校のある南港を、「風」は便りに通じ、
「南港からの便り」という意味をこめて名づけました。



左上写真：3号館1階フロア

右上写真：新しくなった合同研究室

下写真：3号館460教室（旧U-460教室）



ご挨拶

会長 一階由香

この夏は、地震や豪雨、台風など自然の猛威を思い知らされる災害が立て続けに襲来しました。被災なさったかたがたに心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになったかたに哀悼の意を表します。あわせて、一日もはやい被災地の復興を祈念いたします。

酷暑、炎暑…、果ては「殺人猛暑」などという活字が躍った夏が過ぎました。この秋は穏やかに過ごしたいと心から思います。

思えば、この夏は何かにつけて「平成最後」が枕詞のようについていました。たしかに、来年の今ごろは、次の御代となっています。「平成」だったこの30年。私個人にとっては社会人としての私の歴史です。平成とともに歩みだした社会人1年生だった私は、もはや、社会人30年生!？です。(年齢的な自覚のないまま現在にいたっていますが…)

卒業と同時に教職に就き、現在は私立の女子高に勤めています。この学校に勤めてからも四半世紀以上のときが流れました。今では親子二代で私の教え子という家族もいます。

自分の歴史がいくつかの家族に影響を与え、つながりを広げていくというのは感慨深いとともに、とても大きな責任を担っているということを実感せずにはいられません。

この同窓会のつながりにもそんな不思議な縁を感じながら参加しています。4年間在籍しただけでは築けなかった多くの人たちとの関係が今の私を形成し、これからの私を形成してくれるであろうことはまちがいないでしょう。

どうぞ同窓会活動にいつそのご協力を賜りたく存じます。



ご挨拶

相愛大学学長 金児 暁 嗣

平素より、一階会長をはじめ人文学部同窓会の皆さまには、相愛大学の教育・研究・社会貢献活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

おかげさまでここ数年の人文学部は非常に好調を保っております。平成30年度現在の収容定員充足率は、留学生への手厚い教育が世間に浸透したこともあって100%を超え、平成29年度卒業生の就職率も90%を超えています。そして何より、学生たちのいきいきとした姿は、教育現場を預かるものとして大きな喜びと感じています。

続いて時の流れに無常を感じざるを得ないご報告をさせていただきます。

相愛大学にて永きに渡り教鞭をとられ、人文学部の運営にも多大なるご尽力を賜りました木下有子名誉教授(平成29年3月退職)が、平成30年5月14日にご往生なさいました。61歳でした。在職中、病が見つかったから、その苦しさに耐えながら懸命に学生一人一人と向き合いご指導なさるそのお姿は、今なお多くの教職員が模範としていることであります。

少し話しは変わりますが、ここ数年の我が国の教育方針を見ていますと、実学偏重・文系軽視の傾向が如実に現れてまいりました。文部科学省による国立大学への人文社会系学部の見直し要請などがその代表例です。

しかしながら、グローバル社会・結果至上主義がささやかれる時代であるからこそ、それぞれの地域・社会の文化や芸術、習俗などを客観的に捉え、それを享受研究し続けることが人間社会の根幹を形成するものと確信しています。相愛大学では、これまでと変わらず建学の精神「當相敬愛」に基づく社会的使命を全うし続けて参る所存であります。

以前、木下先生はこの会報のなかで自身の座右の銘をご紹介なさっています。

“The sky is the limit(可能性は無量大)”

今日の人文学部好調の背景にはこのスピリットがあり、この先の道しるべとして脈々と受け継がれていくものでありましよう。今後の相愛大学人文学部のますますの発展にどうぞご期待ください。



ご挨拶

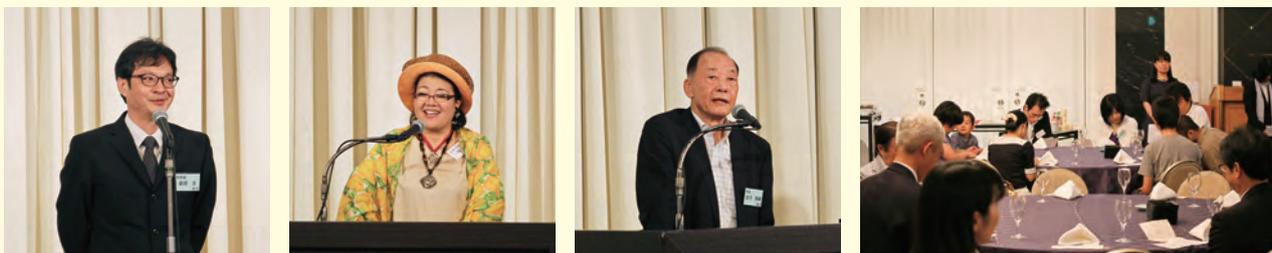
人文学部長 益田 圭

相愛大学人文学部卒業生の皆さん、こんにちは。今年の夏は猛暑、地震、大雨、台風と多くの災害とともに過ぎていました。卒業生の皆さんの中にもこうした災害による被害を受けられた方もおられるかと思えます。心よりお見舞い申し上げます。

多様性に富む6つの専攻から成る人文学部人文学科は、これまで積み重ねてきた教育、相愛寄席をはじめとする対外的イベント等の取り組み、そして新任の先生が中心なり積極的に取り組むさまざまな新たな試みと、教職員、学生とも非常に充実した毎日を送っております。こうした充実した日々の中でふと周りを見渡してみると、先生にも、助手の方にも、事務職員の方にも、保護者の方にも、そして活躍している外部講師の方にも、人文学部の卒業生がいます。こんな時には、人文学部のこれまでの歴史の重さと、卒業生の皆さんにいつも支えられていることを実感します。

人文学部はこれからも精一杯頑張っていきますので、卒業生の皆さんの変わらぬご支援をこれからもよろしくお願いいたします。そして、最後になりましたが、卒業生の皆さん、久しぶりにキャンパスに遊びに来てください。また、人文学部の行うイベントにもご参加下さい。そして現在の人文学部の姿も見てもらえれば幸いです。

第9回 相愛大学人文学部同窓会 総会



総会報告

平成29年8月26日午後、ホテル阪急インターナショナルにおいて第9回を数える人文学部同窓会総会が行われました。

理事長・学長の金児暁嗣先生、学部長の益田圭先生をはじめ、たくさんの先生方のご臨席のもと、笑顔の同窓生が集いました。

卒業アルバム展示のコーナーには1期生から30期生までの写真が並び、初期数年にはバブリーダンスさながらの写真が見られ、若い人たちには目新しい感じだったようです。

お子さん連れの同窓生も年々増え、人文学部の歴史を感じました。

そしてなにより、キャンパス内の木の成長に人文学部三十余年の歴史を感じます。細くて、背の低い「苗木」のような木だったのが、今では堂々と根をはる大きな木に成長しています。

次回の総会にも、たくさんのご参加をお待ちしております。

大学生にもどって、楽しいひとときを過ごしましょう。

「第9回相愛寄席」のお知らせ



写真は第8回相愛寄席のものです。

第9回相愛寄席 「四代目桂春團治襲名披露公演」

日時：平成30年11月24日(土) 13時30分開場 14時00分開演
 場所：相愛学園本町学舎講堂
 出演：桂 治門 桂梅團治 桂きん枝
 中入り 口上 桂春團治

今回で第9回目の開催となりました。この相愛寄席は、人文学部の学生、教職員で運営しており、地域の皆さまからの愛されるイベントの一つになりつつあります。

今年の2月11日には人文学部客員教授でもある桂春團治師匠が「四代目桂春團治」を襲名されました。大阪松竹座で行われました襲名披露公演の興奮冷めやらぬまま、この相愛学園本町学舎講堂にて「四代目桂春團治襲名披露公演」を開催いたします。

同窓生の皆さんのためにお席を5席をご用意いたしました。 四代目桂春團治一門の熱演と後輩たちの活躍、これは必見です!!

ご希望の方は

①郵便番号 ②住所 ③電話番号 ④氏名(フリガナ) ⑤年齢 ⑥職業を明記の上、E-Mailでjinbungakubu@soai.ac.jpへご応募くださいませ。
 お問い合わせ先：人文学部合同研究室 TEL：06-6612-6253 (平日9時～17時)

平成30年度

公開授業 & 公開講座 ご案内

●宮崎 哲弥客員教授による

「仏教原論」

ー近代日本が出会った初期仏教ー

【日時】・10月20日・11月10日
 ・12月8日・1月19日
 ・2月9日 (いずれも土曜日)
 13時00分～15時00分(受付:12時45分)



●名越 康文客員教授による

「宗教心理学」

ー人格分類法との相関を軸に、探究しますー

【日時】・10月11日・11月8日・12月6日
 ・1月24日・2月14日
 (いずれも木曜日)
 18時30分～20時30分(受付:18時15分)



【場 所】相愛大学本町学舎 C601教室 (Osaka Metro御堂筋線「本町」駅下車C階段4号出口を出て右折し徒歩5分)
 【定 員】80名 ※定員になり次第締め切り
 【受講料】2,000円(資料代含む) チケット制 【申込方法】大学ホームページの申込フォーム
 【お問い合わせ先】相愛大学人文学部人文学部合同研究室 TEL：06-6612-6247 E-mail：jinbungakubu@soai.ac.jp

●人文学部公開講座「人文学を楽しむ Part2」

- ・10月20日(土)「絆ー心理学から読み解くー」 初塚真喜子 教授
- ・2月16日(土)「"宗教の共存"について考える」 釈 徹宗 教授

【場 所】相愛大学本町学舎 F604教室 (Osaka Metro御堂筋線「本町」駅下車C階段4号出口を出て右折し徒歩5分)
 【定 員】満席になり次第、締め切り 【受講料】無料
 【お問い合わせ先】相愛大学人文学部人文学部合同研究室 TEL：06-6612-6253 E-mail：jinbungakubu@soai.ac.jp

“合研”
 リニューアル!

平成29年4月、旧文化交流学科・旧英米文化学科合同研究室が「人文学部合同研究室」としてリスタートしました。

旧社会デザイン学科・旧現代社会学科合同研究室は、学生さんが自由に活用でき、教職員と共に集うことができる「ラーニングコモンズスペース」として新たに誕生しました。

旧日本文化学科合同研究室は「図書室」に、旧人間心理学科・旧仏教文化学科合同研究室は「個別面談室&スタッフルーム」にと生まれ変わりました。

3号館の教室もきれいに整備され、新しくなった“合研”に是非この機会に遊びに来てください。

先生から



初塚眞喜子先生

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年6月に大阪北部地震、7月に西日本豪雨が発生しましたが大丈夫だったでしょうか。被災地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

近年は天候不順なことが多く、また様々な事件が多発しています。災害発生地方や事件の現場には、臨床心理士等の心理専門職が心のケアのニーズに応えるべく派遣されることが多くなりました。臨床心理士という資格が世間に周知されるようになり、様々な現場で活動を始めてほぼ30年が過ぎましたが、今年は心理専門

職に「公認心理師」という国家資格が施行されるという大きな変化がありました。今年9月に第1回公認心理師国家資格試験が実施され、12月には公認心理師が誕生いたします。本学では、人間心理学科から人文学科心理専攻へと繋いで来ました心理学の専門領域も新たな光が見えてきたように思います。これからのことですが、今後の展開へ期待したいと思っております。

私はおよそ20年間お世話になりました相愛大学を来年3月で定年退職いたしますが、少しでもお役に立てることがありましたら精一杯お手伝いできたらと思っております。

皆様もお元気で活躍されますよう心よりお祈りしております。



積 徹宗先生

「さとり世代と成熟期社会」

ある年代を指して「さとり世代」と呼ぶのをご存知でしょうか。

1990年代生まれの若者のことだそうです。仏教者としては、いくらなんでも「さとり」はやめてほしい気もしますが……。『さとり世代』の特徴は、ガツガツとした上昇志向がなく、競争心も低く、身の丈にあった暮らしをする、などが挙げられます。“自分の気持ち第一主義”なので、傷つきそうになる事態を避けます。ですから人間関係も淡泊になりがちです。

このような傾向は、私たちの社会が成長期を終えて成熟

期を迎えた証左でもあると思います。いわば、成熟期への無意識的な対応なのでしょう。なにしろ、もはや高度成長期を知らない世代なのです。

すでに私たちの社会は近代社会の最終形態へと突入しています。人間でいえば、アクティブな青年期を過ぎて、成熟期へと移行している最中です。特定の領域や分野が目覚ましい展開を遂げることは起こるものの、社会全体としては「今あるものをうまく循環させて、みんなで分かち合う」といった方向性が重要となります。そういう意味では、若年世代の気質はとても興味深いと考えています。

いずれにしても私たちは、“成熟社会を生きる者としてのマインドセット”を模索していかねばならない事態に直面しているのです。



David Willis先生

こんにちは。お久しぶりです。相愛大学で過ごした日々がとても懐かしく思い出されます。

私は相愛大学を退職後、2010年に妻と共にカリフォルニアに引っ越ししました。母が病気になり、側で暮らしたいと思ったからです。母はその2年後に逝去しましたが、それまでの間に良い思い出をたくさん作ることが出来ました。新しい家族も増えました。二人の息子達がそれぞれに家族を持ち、今では私も5人の孫のおじいちゃんです。長男のジェフリーは医者/医療研究者となり妻、3人の娘と共にサンフランシスコに住んでいます。次男のルークは建築家となり妻、息子、娘とニューヨーク

に住んでいます。近頃では孫達に会う為、両海岸を行ったり来たりして過ごしています。

また、私は今も Fielding Graduate University という大学院大学で博士課程の学生の指導をしています。フィールディングは Adult Transformative Education (成人向け変容的学習) の先駆者的な教育機関として知られるとてもユニークな大学です。相愛の学生と同じように素晴らしい学生達です。また、人間発達、比較教育、環境維持、リーダーシップ、特に世界規模の組織やシステムについての研究、執筆を続けています。43年間教鞭をとっていますが、まだまだ引退するつもりはありません。

大阪には頻繁に帰りますので、いつか皆さんに会えればと思います。

懐かしの先生からのお便り

平成28(2016)年度学年幹事
【人文学部30期生・人文学科1期生】

あらき まこと 専攻：大阪・サブカルチャー
荒木 真琴 専攻：大阪・サブカルチャー
なかむら たろう 専攻：大阪・サブカルチャー
中村 太郎 専攻：大阪・サブカルチャー
ば 健人 専攻：日本文学・歴史文化
馬場 たけと 専攻：日本文学・歴史文化
ほらだ めぐみ 専攻：大阪・サブカルチャー
原田 愛 専攻：大阪・サブカルチャー



平成29(2017)年度学年幹事【人文学部31期生・人文学科2期生】

おう せいげん 専攻：国際コミュニケーション
王 靖元 専攻：国際コミュニケーション
おぐら きな 専攻：日本文学・歴史文化
小倉 綺那 専攻：日本文学・歴史文化
かまだ こうき 専攻：心理
鎌田 晃輝 専攻：心理
こ 遠航 専攻：日本文学・歴史文化
呉 えんこう 専攻：日本文学・歴史文化
まつだ なつき 専攻：日本文学・歴史文化
松田 夏輝 専攻：日本文学・歴史文化



同窓会からのお知らせ

住所・氏名の変更について

学科名・卒業年・氏名(旧姓)・電話・FAX番号・郵便番号・住所・会員番号(会報郵送時の封筒に記載)をこれまでと同様、同窓会室宛にお知らせください。ハガキ、FAX または同窓会ホームページのご住所変更フォームにてお願いします。(同窓会ホームページからもお知らせいただけるようになりました)
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23 相愛学園内同窓会室 / FAX 06-6261-2040

相愛大学人文学部入試イベント情報

- 平成30年
11月11日(日) 推薦A入試
11月18日(日) オープンキャンパス
12月9日(日) 推薦B入試
- 平成31年
2月1日(金) 一般A入試
2月28日(木) 一般B入試
3月20日(水) 一般C入試
3月28日(木) オープンキャンパス

中学・高校入試イベント情報

- 平成30年
10月14日(日) 第1回中学プレテスト
10月20日(土) 第4回オープンスクール
11月17日(土) 第1回高校入試対策講座
11月23日(金・祝) 第2回中学プレテスト
12月1日(土) 第2回高校入試対策講座
12月15日(土) 第3回高校入試対策講座
- 平成31年
1月12日(土) 中学入試直前対策講座
1月19日(土) 中学入試A日程
1月20日(日) 中学入試B日程
1月25日(金) 中学入試C日程
2月9日(土) 高校入試一次
2月10日(日) 高校入試一次

大学イベント情報

- 平成30年
10月13日(土) 大学祭
10月14日(日) 大学祭
10月19日(金) 相愛オケ第70回定期演奏会
11月10日(土) 糖尿病フェスタ
11月16日(金) 相愛ウインドオケ第40回定期演奏会
12月18日(火) 沙羅の木会創立50周年記念コンサート
12月23日(日) 学内オペラ公演
12月25日(火) 「マジごはん by Osaka」食育推進プロジェクト音楽学古楽実習発表会
- 平成31年
2月2日(土) 食育推進キャンペーン
3月7日(木) 相愛オケ第71回定期演奏会
- ※詳細は、大学ホームページをご覧ください。

着任・退職

平成28年度 ご退職

呉谷 充利
木下 有子
片岡 尹

平成29年度 着任

岡田 大輔
向井光太郎

平成29年度 ご退職

山下 昇
江草 浩幸
敬称略

訃報

- 平成29年8月8日ご逝去 アラン・ハワード・フィッシャー先生
 - 平成29年9月31日ご逝去 蔭木 英雄先生(名誉教授)
 - 平成30年5月14日ご逝去 木下 有子先生(名誉教授)
- 先生方のご遺徳を偲び、謹んで追悼の意を表します。
合 掌

過去帳納め

同窓会にお知らせがあった物故者のお名前(同窓生)を、毎年2月に大谷本廟の学園関係者過去帳に記入し、納めさせていただいております。

編集後記 editorial note

今年は地震や台風など自然の恐ろしさを目の当たりにすることが続きました。

被災された方には心よりお見舞い申し上げます。

人文学部では卒業生の皆さまも参加できる様々なイベントを開催していますのでぜひご参加ください。

これからも同窓会では、木下先生の座右の銘“The sky is the limit(可能性は無限大)”のように日々進化し続けている人文学部を同窓生の皆さまにお届けできるよう尽力して参ります。

編集委員

一階 由香 大迫 秋穂 中村 則子
森本 裕子 安田 圭佑 山田 容子 (五十音順)